

胡麻インストラクター協会

〒604-0845

京都市中京区烏丸御池上ル二条殿町 546

Tel 075-222-7318 fax 075-222-0318

胡麻インストラクター協会 会報

2011年2月25日発行 第18号

「胡麻で笑顔」

胡麻インストラクター協会

会長 セサミマイスター 深堀 勝謙

みなさん今年もよろしくお願ひします！

さて今年の胡麻インストラクター協会のテーマは「胡麻で笑顔」です。

胡麻は食卓に笑顔をもたらします

そして更には世界平和につながります。

笑顔はみんなを幸せにします。

胡麻で笑顔。みんなで普及がんばりましょう！！

胡麻は世界を平和にする。嘘みたいな話かもしれません。

セサミマイスター 水埜 公喜

寒い日が続いていますが、胡麻を愛している皆様は健康そのものだと思います。

そんな一人、一番東のソムリエ水埜です。よろしくおねがいます。

深堀会長とは共通の友人の紹介で一緒スキーをして以来、数年に1回酒を飲む程度のお付き合いでしたが、この1,2年胡麻を通してより深いものになってきました。昨年夏のソムリエ試験の朝も前夜の酒の席での一言で、宇治の倫理法人会例会にも急遽参加させていただき、あらためて会長の胡麻や人々への熱い想いを感じることができました。

さて今回は、私の少ない胡麻体験を書きたいと思います。少ないと書きましたが、それはなぜか。実は最近まで胡麻嫌いだったのです。特にすり胡麻は苦手でした。といってもまったく食べられないわけではなく、香りが気になり食が進まないといった、どちらかといえば食わず嫌いに近いものだったと思います。そんな私が胡麻好きになったきっかけが、

会長の胡麻愛です。それに共感した私は意識的に食べてみるようにしました。するとあの香りがだんだん気にならなくなり、好きになってきました。ソムリエになる少し前です。

ソムリエ試験を受ける頃にはすっかり胡麻好きになった私は、ほぼ毎日スプーン1杯程度食べるようになり、その後、11月まで特に体調の変化はなく日常をすごしていました。そんなある日、年1回の健康診断の結果が返ってきました。お酒好きの私が一番気になるのは、肝臓の値。なんと上限すれすれだった数値が、すべて真ん中になっていました。試験前講習で聞いてはいたが、体験すると驚きですね。夏の猛暑になんとなくすごせてしまったのも、胡麻のおかげかもしれません。感謝です。

最近気づいたことがあります。無理と思われることでも願い行動する。思い続けなければ実現しない。このことは数々の勉強会で学んできました。それを実践しているのが深堀会長だと。

私の肝臓の値は、非常に個人的な話です。この夏なんとなくすごせたのも同じです。でも考えてみるとなんとなくすごせるということは、本当に幸せなんだなと感じます。涙する余裕もない人達が大勢いる世界の中で、幸せを与えてくれた胡麻には、もっと感謝しなくてはいけない。こんな小さな幸せでも、胡麻の力で世界中の人々に伝え、そして大きな幸せの輪を作る。まさに胡麻の輪（GOMANOWA）です。

ちょっと大袈裟かもしれませんが。でも思い続けなければ、かなわない。

微力ながら皆さんと一緒にがんばりたいと思います。本当に微力で申し訳ありません、会長。

裏胡麻美人ワールド 2011 年へようこそ！

事務局長 GOMA-ISSA

2010 年は大晦日の寒波で終わり、2011 年 1 月は雪の多い新年となりましたが、すべて転ばぬよう、気をひきしめていきましょう！今年もよろしく申し上げます m(_)_m

残念ながら、皆様に配信するような裏ネタはない 2011 年の会報だと思っていたのですが…見事にその期待を裏切るべくネタの溢れるスタートを切ってしまったのでした^_^;
くれえぶ堂店長のマスク事件、会長のえべっさん事件、何かからお話ししようか…と迷うのですが、やっぱりこれでしょうか…会報第 6 号に続く会長の『靴ベラ事件第 2 弾』
まさか、再び起こるとは予期しておりませんでした(-_-;)

先日、新商品の試作をいただきに、大阪門真の会社に会長と伺った時のことです。
打ち合わせも終わり、試作をいただき車に荷物を積んでいると、横で何やら会長が「一大事一大事！！早く車に乗って！」と大慌て(@_@;) 車に乗り込むやいなや発進させ、会長の一声。「これ見て！」と短い足をあげたその先には…パツクリと口をあげた靴が(~o~) 「ギャ〜、またあ！」一瞬にして狭い車内には一年分の笑いが！可笑しすぎて涙は出るわ、言葉は失うわで、これにはやめて！っていう感じでした…しかも、またしても右足とは(^_^メ)※写真 1

そして、さらに笑いは続き、さすがの会長も靴屋に行ってくれと。前回は、かかとが取れたことにしばらく気付かなかったこと、黒のビジネスシューズだったので多少は『ゴマかせた?!』ののですが、今度はやはりどうにもならず…「26.5cm4E の靴を買ってきてくれ。僕は外に出られない。」と。ところが、そういう時に限ってないんですよね、靴屋さんが(笑) しかも会長の足に合う靴も(笑)
結局、高速道路のインターチェンジまでの間に探すことはできず、※写真 2



滋賀まで戻ってきたのですが、頭の中が真っ白になってしまった会長には、仕事の話も何も理解できず、ひたすら靴を探すことだけでいっぱいになってしまったのでした(笑)

途中、何軒か靴を探しに寄ったり、会長が翌日使うコック服も買いに寄ったのですが、会長が車内から出ることはなく…30 分じっとできない会長が 3 時間ひたすらじっと運転席に座っていたのでした(笑)そして、靴を買って一番にしたことはというと…皆様の想像を裏切ることなく、WC でした。

結局新しく購入した会長の靴は『27 cm 3E』です。唯一 1 足だけ見つけたのでした(^_^)
会長の新しい靴を目にされた時は、この一大事を思い浮かべてくださいね(^_-)☆

そして、最後の極めつけがこれ※写真3
漫画でしかありえないような珍事が起きたのでした
((+_+))



さて、今回は色についてのミニ雑学です。
おせち料理や、婚礼、五穀豊穰などお祭り事には、
いろいろな意味が込められていることは、皆様ご存
知だと思います。そして、そのお祝い事には紅白が
使われるのはなぜかご存知ですか？紅(赤)には魔よ
け、白には清浄の意味があるからです。

ですから、赤(紅)色はおめでたい色、だから祝い事というのは間違いです。『赤(紅)色＝祝い事』
ではありません。お見舞いの水引きにも紅白が使われていることを考えれば、わかると思いますが、
魔よけの色だからなのです。この解釈をしっかりと理解しておきましょう！

皇室で使われている祝い事の水引きの色は、一見すると黒に見えるような色なのですが、これも
赤色なのです。

皆様…自分には関係ないこと、自分が知らなくても誰かが知ってればいいや、とか、まわりも知
らなきゃ問題ない、とか、簡単に考えてませんか？知らないと恥かくことってたくさんあるんで
すよ。うんちくや御託をならべるより、マナーを大切にしましょう。

余談ですが、新渡戸稲造は『マナーは愛』と唱えたそうです。

マナーは、「体裁を気にして行うならば、礼儀とはあさましいものである。」

相手に対する思いやりの心、自分のことはさておいて、相手のことを思いやるのがマナーなので
す。100人いれば、100通りの思いやりがあるのです。LOVEは御大切 愛は唯一犠牲的なもの
(与えられるものではなく、与えるもの) マナーは愛なのです。

脳の活性化は→愛と思いやりから(マナー)→それが希望と感動を与える、のです。

なんか会長が言いそうな話？になってしまいましたが (笑)、ちょっと視点を変えるだけで、新
しい発見ができると思います。

では、また次回(^o^)

今年も行ってまいりました伊勢丹新宿本店。

今回は、新作ごまクレープ9種類。

右のように冷蔵ケースにて販売いたしました。

最初の2日間はGOMA-ISSAこと石田女史とセサミマイスター染木女史母子との共同戦線(?)でした。3日目からはクリスマスからずっと休みなく催事周りをしてくださっているセサミマイスター藤本氏も加わってくださり、さらにごま販売の強化が行われ、たくさんの方がリピーターで来てくださいました。



今回のクレープには、特製の「黒ごま生クリーム」を使用。これが甘すぎずに人気でした。ただ、去年来てくださった方の中には、「京野菜ごまクレープ」が食べたかったという方も。覚えていてくださって本当にありがとうございます。

1月の末からは近鉄百貨店阿倍野本店地下2階食品フロアにて京野菜ごまクレープと新作のバナナチョコごまクレープを披露させていただきました。



今回は、胡麻屋くれえぷ堂伏見店の福永女史も参戦してくださいました。

今回が初回となるため、新宿に比べてお客様は少なかったのですが、毎日少しずつリピーターの方が増え、おいしいとおっしゃって下さる方もあり、本当に有り難かったです。

もちろんテレビで知っているという方も多数あり、多くの人に喜んでいただけたのではないかと思います。

近鉄で催事中に、関西テレビ「冒険チュートリアル」の取材があり、西村和彦様（左）がご来店くださいました。

2月21日(月)の冒険チュートリアルで放送予定です。

というわけで、どうぞ今後とも胡麻屋くれえぷ堂をよろしく願いいたします。



【お知らせ】

○ご寄稿のお願い

セサミマイスターの皆様には、順番に会報の文章を依頼させていただいております。お手数ではございますが、ご担当の際はご寄稿を賜りますよう、よろしく願いいたします。

さっそくですが、**次回のご寄稿予定は M10025 名越峰代様、M10026 蔵ヶ崎実様、M10028 清田ひさ乃様**となっております。よろしく願いいたします。

その他、情報や投稿を随時募集しております。あて先は goma@wadaman-s.com までお願いいたします。次号は来年3月25日信予定です。お楽しみに！